

長岡にとって 8月1日が どういう日か 知っていますか？



昭和20年8月1日午後10時26分、長岡のまちに空襲警報が鳴り響き、直後の10時30分にアメリカ軍大型戦略爆撃機B29が焼夷弾爆撃を開始しました。市民の住む市街地を目標とした無差別じゅうたん爆撃によって、長岡のまちは瞬く間に炎に包まれました。翌2日の午前0時10分まで1時間40分にもわたったすさまじい空襲によって市街地の八割が焼け野原となり、わかっているだけで1484人の市民が犠牲となりました。

この空襲を当時の新聞「ニューヨーク・タイムズ」紙では、8月1日に長岡・富山・水戸・八王子の四都市の爆撃に用いた爆弾の量が、1回の空襲では史上最大の規模であったと報じました。

8月1日に起こった悲劇…長岡空襲

(参照)ながおか市政だより 2005年8月号より
※戦災殉難者数については2012年7月4日現在のデータに基づいております。